

【ポスター発表】

地域活性化の支援における外部資源の役割

—A 地域と B 大学との連携から見えてくるもの—

○ 至誠館大学 氏名 横山 順一 (003978)

キーワード：地域活性化 社会資源 外部連携

1. 研究目的

現在の日本社会は、一部の都市に人口が集中し、結果的に多くの地方都市では人口流出に伴う人口減少や高齢化率の上昇が進んでいる状態にある。人口減少や高齢化の上昇によって生じる地域の問題には様々あるが、特に地域の活力が失われていることに注目をしたい。その理由として、人口流出や高齢化の上昇によって地域コミュニティが弱体化し、地域住民が抱える問題に対してお互いの助け合いが進まなくなること、生活における生きがいの減少等が見受けられることが考えられるためである。このことは、地域住民にとっては地域の魅力を強みとする機会を失い、地域が生き残るためのツールを生み出しにくくすることにつながる。実際に、平成 27 年度版厚生労働白書では、人口規模が小さい自治体ほど人口減少率が高くなること、さらに無居住化する地域が出現することも示唆されている。さらに平成 28 年度版厚生労働白書では、地方都市では人口数は減るものの 65 歳以上人口は大きく変わらないことが見込まれていると指摘されている。このことは高齢化率がさらに進み、地域社会の維持等に深刻な影響を与えることが懸念されることになる。

そのことから、地域活性化への期待が高まっている。都道府県の助成事業である「中山間地域元気創出応援事業」が平成 29 年度から国の補助金対象となっていることからそのことが伺える。

本研究では、特に「地方都市において、地域活動を地域内部に求めることの難しさを念頭に、地域活性化の鍵を外部との連携を充実させることにある」として、A 地域の地域活性化の取り組みと B 大学との関わりから見えてくる、地域外の社会資源の役割について考察するものである。

2. 研究の視点および方法

報告者及び B 大学は、平成 27 年度から A 地域の地域住民の自治組織である A 地域コミュニティ協議会と共同して「中山間地域元気創出応援事業」の助成を受け、地域活性化支援に携わっている。平成 27 年度は A 地域に対して地域活性化に関わることの周知及び意識調査活動を通して地域支援計画の立案を行い、平成 28 年度は継続して周知活動及び地域既存の行事に参加したり新規に行事立案及び実施に関わった。平成 29 年度はさらに計画に基づき地域の環境改善活動を実施する。

本研究は、3年間の活動を通じたA地域住民への聞き取り及び共同作業の状況に基づいてまとめたものである。

3. 倫理的配慮

質問票を用いて実施した意識調査は統計的に処理され、個人が特定できないよう配慮を踏まえている。共同作業の状況については参加者数等客観的な数値として活用していること、及び半構造化面接を通してデータ化し、個人が特定できないよう倫理的配慮を行っている。

なお、質問票及び調査結果の活用については、「中山間地域元気創出応援事業」実施主体であるA地域コミュニティ協議会との取り決めにより、地域支援に資する目的及び研究活用目的に限定することとされている。

4. 研究結果

A地域内の高齢化率は50%を超え、集落によっては高齢者世帯のみ等という状況で、地域行事の実施が厳しい地区も存在している。意識調査は地域住民全体から無作為抽出して実施した調査及びモデル地区における全戸調査に加えて、既存の地域行事でのアンケート調査、地域内保育所による保護者アンケートによって整理した。住民アンケートは住民ができること、地域全体でできること、行政が主導してできることに整理し、特に住民ができること、地域全体でできることを主体に地域支援計画を整理した。

平成27年度からの行事参加や立案実施を通して、全体として自助努力や地区内の助け合いを第一に考えている反面、若い世代ほど地域活動に消極的の傾向がみられた。

地域活動の立案と実施については、地域食材を使い初回は地域住民による郷土料理メイン、2回目はB大学（主に活動に参加する学生）が検討したレシピによる調理実習及び懇談会を開催した。参加者からは「若い世代と交流することで、これからのこの地域の未来に期待を持つことができるようになった」という声を多くいただいた。さらに、平成29年度は地域の環境美化を通して地域への関心を高める試みを行う。

5. 考察

地域福祉は「住民の社会福祉活動の組織化を通じて」進められるものであるとされるが、現実問題として、住民だけの組織化では参加可能な一部住民に過重な負担を負わせるものになってしまう。その意味で、外部からの協力参加を前提とした組織化を念頭におくことを主眼とした地域運営をしていく必要がある。さらに、外部資源として大学（特に福祉系学生や教員）が関わる場合、ブラッドショーの規範的ニードの発見の期待が高まる。